

産総研と地域企業

産業振興で連携



名城ナノカーボン

技術を融合

名城ナノカーボン(名古屋市守山区)は、2005年設立のカーボンナノチューブ(CNT)のベンチャー企業。単層CNTのメーカーとして世界的にも最も歴史があり、高品質な単層CNTに定評がある。CNTは夢の素材と言われ、その発見から25年を経た。高い導電性や熱伝導性、軽く強いなど特徴的

な物性が明らかとなり、最近では実用化も現実味を帯びてきた。eDIPS法は高結晶性で極細の単層CNTを合成する手法で、本格的には少量生産用で、当社はこの技術に着目し、自社のCNT合成技術と融合させることで、CNTの高温での製造が可能になる。eDIPS法は高結晶性で極細の単層CNTを合成する手法で、本格的には少量生産用で、当社はこの技術に着目し、自社のCNT合成技術と融合させることで、CNTの高温での製造が可能になる。

合成速度100倍

いい、産業技術総合研究所が開発したeDIPS法と当社の閉塞加熱法を融合させたオリジナル技術である。

航空宇宙向け

量産システム最終段階

いい、産業技術総合研究所が開発したeDIPS法と当社の閉塞加熱法を融合させたオリジナル技術である。

その後、量産へ向けた開発を新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)の「低炭素社会を実現するナノ炭素材料実用化プロジェクト」が推進している。

開発の規模も大きくなっていることから、必要がある。

これまで自社で合成した単層CNTを研究開発用の試薬として小分け販売しており、年間200件程度の取引が直近7年は続いている。

これにより運営資金を賄ってきたが、同時に顧客からの評価をいただくことで、製品のレベルアップにもつなげていった。

このビジネスモデル

代表取締役・橋本剛(木曜日に掲載)

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社



無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社

一言メッセージ

産総研ベンチャー開発・技術移転センター技術移転マネージャー 宮本 裕生

高品質CNTの提供により、同社はCNT応用開発に多大な貢献を果たしてきた。CNTは実用化の段階に進みつつあり、高品質CNTの量産化はその鍵となる。この分野のリーディングカンパニーとしての成長を期待したい。

高品質単層CNT